

デジタル教科書指導案／地理的分野

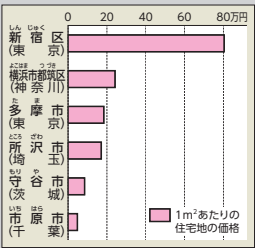
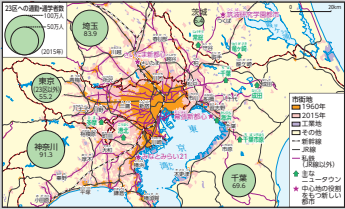
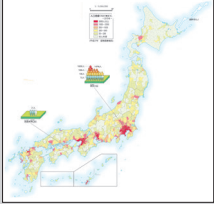
1. 題材 p.242-243 東京大都市圏の過密問題とその対策

2. 目標 (1) 人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことを理解し、過密問題に対して取られてきた対策を理解することができる。
- (2) 1970年代以降につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを多面的に考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・人口の集中と都市圏の拡大によって過密問題が発生してきたことや、過密問題に対して取られてきた対策を理解している。
思考・判断・表現	・多摩ニュータウンと港北ニュータウンを事例に、1970年代以降につくられたニュータウンが現在抱えている問題と、人口が増加しているニュータウンの取り組みを多面的に考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 「東京大都市圏の地価の比較」を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 都心の地価が高いことが、どのような影響を与えているかを予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.242 1 資料から気付いたことを挙げてみよう。 地価が高くなるとどのような問題が起こるのだろうか。	○ 地図帳で新宿区などの位置を確認させ、地価の分布をとらえさせながら、本時への導入を図る。 ○ 1㎡（新聞紙約2枚分）あたりの土地の価格を提示し、地価の高さを実感させる。 ◆ 都心の地価高騰により、郊外へ都市圏が拡大してきたことに気付かせる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
展開	3. 東京大都市圏のおおまかな範囲と特色を確認する。 4. 東京大都市圏で発生している都市問題とその対策について調べてまとめる。	 p.242 2  地図帳 p.152 ⑥ 都市問題 (例) ・住宅地の不足 (例) ・通勤時間帯の混雑 (例) ・ゴミの増加 対策 ・住宅地として鉄道沿線に沿って開発 ・ニュータウンの建設 ・大学や研究機関の移転（筑波研究学園都市の建設） ・都市道路の整備 ・防災対策 ・臨海部の埋め立て地や鉄道施設の跡地の再開発（土地の有効利用） 多くの人口が集中する東京大都市圏では、どのような都市問題が発生しているか調べよう。また、取られている対策についても調べ、まとめてみよう。	○ 地図を活用し、東京大都市圏の範囲を確認する。 ○ 都心から50kmを超える地域まで都市圏が拡大し、全国の人口の約4分の1が集中していることに気付かせる。 ○ 過密による問題とその対策について調べ、まとめさせる。 ◆ 人口の集中と都市圏の拡大によって、通勤時間帯の混雑やごみの増加などの都市問題が発生してきたことを理解させる。 ◆ 都市問題に対してどのような対策が取られてきたのか、主体的に調べてまとめさせる。

5. 都市機能の分散やニュータウンの建設などが行われてきたことを理解し、多摩市を例にニュータウンで起きている課題について考える。

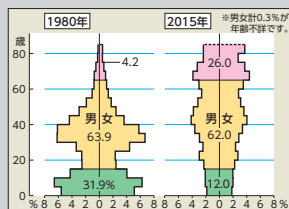


p.242 3



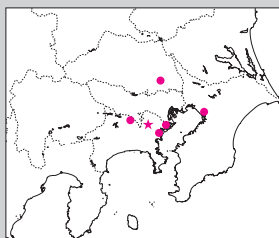
「多摩ニュータウン」

過密問題に対して、どのような対策が取られてきたのだろうか。



p.243 6

多摩市ではどのような問題が起こってきたのだろうか。



関東地方にある政令指定都市を調べ、白地図にまとめてみよう。



p.243 4



p.243 5

横浜市ではどのような街づくりが行われてきたのだろうか。

6. 横浜市の事例から湾岸の再開発やニュータウンの整備などの状況を理解する。

(1) 関東地方の政令指定都市

(2) 横浜市の再開発

◆ 過密問題の対策として多摩ニュータウンや筑波研究学園都市が開発されてきたことを理解させる。

○ 人口ピラミッドを読み取らせ、多摩市の課題を考えさせる。

◆ 多摩市では少子高齢化が進んでいることを読み取らせる。

◆ 学習プリントを活用し、関東地方にある政令指定都市の名称と位置を理解させる。

○ 横浜市の開発の特色を理解させる。

◆ 港北ニュータウンの人口が増加している理由を、交通の利便性、商業施設の充実、横浜市の待機児童対策など、多角的な視点から考察させる。

7. 本時のまとめをする。

東京大都市圏の拡大に伴う都市問題と、その対策について、説明しよう。

8. 学習課題への振り返りの活動を行う。

「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。

◆ 東京大都市圏の拡大に伴って生じてきた過密問題に対し、郊外のニュータウンの開発や都心の再開発などが行われてきたことを説明できたか確認する。

○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。